

専門科目試験問題

次の問題Ⅰ、問題Ⅱをそれぞれの指示にしたがって解答すること。

解答には必ず所定の解答用紙を用いること

専門科目試験問題

問題 I.

受験票に記載した予定履修分野に関する問題から 1 問を選んで、所定の解答用紙に日本語で解答しなさい。

履修分野 I

1. ロラン・バルトはその著書『記号の国』の中で、西洋の都市には中心は存在するが、日本の都市の中心は「空虚」だと述べている。このような見解はどの程度妥当性があるか、具体例を挙げながら論じなさい。
2. 構造言語学において、言語要素の paradigmatic/syntagmatic relations (範列的/統語的關係) が重要視されているが、言語以外のあらゆる文化的事象を構造的に分析する際にも上記のような関係を見出すことができるということを、具体例を挙げて実証しなさい。
3. 文学作品における視点と映画における視点のありかたを比較し、その類似点や相違点について具体例を挙げて論じなさい。
4. 社会におけるマジョリティの言語や文化や宗教へのマイノリティの同化の問題について、個別的事例に即して論じなさい。

履修分野 II

5. 感情形容詞「ほしい」、「こわい」、「うれしい」などを述語とする文では、その感情を持つ主体にある種の制限が加わる。その制限について、具体例を挙げて説明しなさい。
6. 2016 年上半期に日本では、「謝罪」が社会的に大きな話題となった。「謝罪」について談話研究の視点からどのような分析が可能か、具体例を挙げて論じなさい。
7. 次の(1)の相互行為を、学術的視点 (複数の視点でも可) から論じなさい。
 - (1) (NNS=非母語話者、NS=母語話者)
 - 1 NNS: when I was child, chased a dog. so it, I was very horrible.
 - 2 NS: it was so horrible.
 - 3 NNS: yeah yeah.
8. シャドーイング訓練は単純作業であり、創造的な言語産出の訓練にはならないという意見がある。これについてあなたの考えを、特にスピーキング能力 (話す力) との関わりについて、理論的な観点を加えながら述べなさい。

履修分野 III

9. 次の文は曖昧である。どのように曖昧なのかについて分かりやすく述べ、この曖昧性がどのようにして生じてくるのか説明しなさい。

John loves his brother, and Bill does, too.

10. 次の例文は各々どのような特徴をもち、他の例文とどのように異なるのだろうか。またこれらの例文全体を眺めるとどのような言語現象と捉えることができるだろうか。あなたの知っている言語学的な専門用語を駆使しながら説明しなさい。

- (a) 疲れたけれどがんばった。
(b) 彼は悲しかった。けれど涙を必死でこらえた。
(c) もう時間ですけれど。

11. 認知言語学における意味の記述は、百科事典的意味論 (encyclopedic semantics) を前提にしていると言えるが、その理由や利点を具体例とともに論述しなさい。

12. 外国語教育への応用研究を目的とした書き言葉コーパスを構築するなら、コーパスをどのように設計するか (データの規模、データの収集法、データ付与情報など)、あなたの構想を具体的に説明しなさい。

問題 II.

受験票に記載した予定履修分野とは関係なく、以下の7つの問題から2問を選んで、所定の解答用紙に日本語で解答しなさい。

1. 文学・映画・その他の芸術 (舞台芸術のほか造形や視覚芸術など言語を媒体としないものを含む) が担う社会的機能について、具体例を挙げて論じなさい。
2. インターネットの発達 は 社会の民主化を進めるという主張の是非について、あなたの考えを述べなさい。
3. 現在日本語として定着しつつある「アハ体験」は、もともと心理学者カール・ビューラーによる術語「Aha-Erlebnis」(ドイツ語:aha は突然の了解を表す間投詞「あっ(そうか)、なるほど」、Erlebnis は「体験」という意味) に由来する。この Aha-Erlebnis の訳語には、他に「ひらめき-体験」(『言語理論』)、「ハハア体験」(『知能の心理学』)が見られる。これら3つの訳語を分析し、言語体系への定着という観点から論じなさい。

(出典:カール・ビューラー (協阪豊・植木迪子・植田康成・大浜るい子・杉谷眞佐子共訳)

『言語理論 言語の叙述機能』クロノス 1985年

ジャン・ピアジェ (波多野完治・滝沢武久訳)『知能の心理学』みすず書房 1989年)

4. 第二言語（外国語を含む）でのコミュニケーション能力を評価するためには、どのような評価手法が適切だと考えるか。第二言語でのコミュニケーション能力を定義した上で、具体的に論じなさい。
5. ある学会の学会誌の投稿規定に「本学会の会員は本学会誌に論文を投稿できる。」と書かれていたところ、学会の会員でない人から論文の投稿があり、その人は「投稿規定には矛盾していない。」と主張した。投稿規定の文を「本学会の会員ならば本学会誌に論文を投稿できる。」と解釈した上で、この主張を論理的に分析しなさい。それを踏まえて、この主張は直感的にはおかしい主張だと感じられるが、その理由について分析しなさい。
6. 次の各々の例文に関わっているのはメタファーか、メトニミーか、あるいはそれ以外のレトリックの候補が考えられるか。根拠を挙げつつ、あなたの見解を詳細に述べなさい。
- (a) この問題はすっかりこんがらがってしまった。
(b) 彼は驚きのあまり目が点になった。
(c) 国内資本が独占していたこの業界への今回の外資参入は、まさに黒船到来だ。
7. 次の英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、ロシア語、中国語、朝鮮語のいずれか1つを選んで、設問に答えなさい。ただし、外国人留学生等、日本語を第1言語としない者は、日本語を選択すること。

(1) 英語

日本語に訳しなさい。

【この問題は、ホームページ上では公開しない。】

(2) ドイツ語

日本語に訳しなさい。

【この問題は、ホームページ上では公開しない。】

(3) フランス語

日本語に訳しなさい。

【この問題は、ホームページ上では公開しない。】

(4) イタリア語

日本語に訳しなさい。

【この問題は、ホームページ上では公開しない。】

(5) ロシア語

日本語に訳しなさい。

【この問題は、ホームページ上では公開しない。】

(6) 中国語

日本語に訳しなさい。

【この問題は、ホームページ上では公開しない。】

(7) 朝鮮語

日本語に訳しなさい。

【この問題は、ホームページ上では公開しない。】

(8) 日本語 (外国人留学生等、日本語を第 1 言語としない者のみ選択可)

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

【この問題は、ホームページ上では公開しない。】

問 1

問 2

問 3